

**瀋陽駐在員事務所****【中国最大の祝日 - 春節】**

春節とは陰暦（旧暦）の旧正月であり、中国人にとって最も大切な祝日で、中国をはじめ韓国、ベトナム、モンゴルなどアジア諸国でも祝われています。中国商務部によると、今年の旧暦大晦日から正月 6 日間（2 月 7 日から 13 日）の全国の小売・外食産業の売上高は約 7,540 億元（約 13 兆 57 億円）と、昨年の春節連休期間に比べ 11.2%増加しました。

中国政府国家新聞出版広電総局電影局によると 2 月 8 日から 13 日（旧暦 1 月 1 日から 6 日）の 6 日間、全国の映画興行成績は前年同期比 67%増の 30 億元（約 540 億円）で過去最高となりました。

また、春節に海外旅行を楽しむ人も増加しています。旅行サイト「携程網」が最近発表した「2016 年春節大型連休中の海外旅行動向報告書」によると、春節連休中の旅行者の内 6 割、600 万人以上が海外旅行で、これも過去最高を記録しました。中国人海外旅行客の 1 人当たり支出額は平均 1 万元（約 18 万円）を上回る見通しで、中には価格が 30 万元（約 540 万円）の「24 日間南極三島、アルゼンチン、ブラジル周遊旅行」に申し込んだ人もいます。

春節は伝統的に家族が集まる祝日でしたが、経済発展と共に春節の過ごし方も多様化しているようです。

張 璐



混雑する空港

**ユジノサハリンスク駐在員事務所****【サハリン農業技術向上セミナー】**

2 月 12 日(金)、サハリン州政府と北海道銀行との共催によるサハリン農業技術向上セミナーが開催されました。

2 月 11 日(木)に開催予定でしたが、雪のため前日の飛行機(札幌 - サハリン直行便)が欠航、日本訪問団 10 名がサハリン入りできず、開催が危ぶまれました。しかしながら、2 月 11 日(木)の飛行機(札幌 - 成田 - サハリン)でサハリン入りすることとし、急遽の日程変更にも関わらず、サハリン州政府の全面的な協力をいただきました。雪道の中、何人が参加してくれるのだろうかという不安もありましたが、2 月 12 日(金)当日は、準備していた 60 席に対し 100 人近い参加をいただき、活発な質疑応答等、関心の高さがうかがえました。

天候もそうですが、ロシアでは中々予定通りに物事が進みません。一方、ロシアの方々が本番に強いということと、我々日本に対する思いもとても強いということを感じました。

「雨降って地固まる」ならぬ「雪降って絆深まる」とでも言えましょうか。日本とロシアの、北海道とサハリンの関係は、少しずつですが着実に近く強くなっているのを実感しています！



達田 暢

## ウラジオストク駐在員事務所

### プリモルスキーオペラ・バレエ劇場でのバレエ鑑賞について

先日、プリモルスキーオペラ・バレエ劇場へ『くるみ割り人形』を見に行ってきました。

この劇場は APEC サミット会議会場（現在の極東連邦大学キャンパス）やウラジオストク国際空港ターミナルなど、2012 年の APEC 開催にむけたインフラ整備の一つとして建設されたものでしたが、残念ながら完成が間に合わず、一年遅れの 2013 年 10 月にオープンしました。

劇場のバレエ団に 5 人の日本人ダンサー（男性 1、女性 4）が所属しており、そのメンバーの一人と以前お話しする機会があり、今回鑑賞することにしました。

『くるみ割り人形』は「白鳥の湖」「眠れる森の美女」と並ぶチャイコフスキー三大バレエの一つとして知られ、クリスマスを舞台に描かれているため、年末に上演されることが一般的です。また、童話をもとにした作品のため、子供連れの方が多いようです。

初めてのバレエ鑑賞でしたが、ダイナミックさと繊細さを兼ね備えたダンサーの動きにただただ圧倒され、時間が経つのを忘れてしまいました。劇中に流れる音楽もよく知られた曲ばかりだったので、バレエの世界にスッと入ることができました。

この劇場は今年 1 月よりサンクトペテルブルクのマリインスキー劇場の傘下に入りました。今後はマリインスキー劇場からダンサーが派遣されて公演に参加するなど、さらに魅力的なバレエを観ることができそうです。



伊藤 清平

## カシコン銀行

### 「自然と大都市の融合 クアラルンプール」

先日、マレーシアへ出張しました。シンガポールと並び、アジアの優等生と評価されるマレーシアは一人当たりの GDP が 10,000 米ドルを超える経済国家です。民族構成が複雑で、JETRO によれば、マレー系約 6 割、華人約 2 割、インド 1 割、その他という構成で、同じ熱帯の国にあり、国土を接するタイとは全く異なる雰囲気です。

大自然の森の中に空港や大都市を造設したかのような自然と一体化した美しい都市を歩くと、道路も清潔・綺麗に舗装されており、また、街の中を縫うようにモノレールやスカイウォークがあるため、非常に快適に過ごす事が出来ます。

ショッピングモールやデパートの中には、タイほどではないものの、日系飲食店の出店も目立ちます。今回は帯広商工会議所のマレーシア現地セミナーにも参加させていただき、マレーシア人に対する試食会にも同席しましたが、反応は非常に良好で、北海道企業の進出先としても十分に余地があると感じました。マレーシアはよくタイと比較される国で様々な事前情報はあったつもりですが、「百聞は一見に如かず」です。東南アジアへの進出を検討されている方は是非マレーシアもご視察下さい。



マレーシア首都  
クアラルンプールの街並み



帯広商工会議所のフードセミナー

伊藤 彰浩

## 日中経済協会 北京事務所 札幌経済交流室

### 中国のオンラインお年玉

新年好！（シン・ニエン・ハオ！）。明けましておめでとうございます。中国で新年というと旧暦の正月（春節）を指します（今年は2月8日でした）。

日本と同じように、ここ中国でも正月にお年玉を渡す風習がありますが、その渡し方がユニークなので紹介します。中国ではここ数年、スマートフォンでお年玉を渡すことが可能となり、新しい風習として定着しはじめています。渡し方は非常に簡単で、無料通信アプリ中国版LINE「微信（ウェイ・シン）」を使い、お年玉の金額と渡す人を指定するだけです。微信は自分の銀行口座と紐付けが可能のため、両者間の資金の行き来をリアルタイムで行うことができます。

微信はこのほど、春節期間中（2月7日から12日まで）のオンラインお年玉データを公表しました。配布・受け取りの総回数は、なんと321億回を超えているとのこと。昨年の春節5日間の32億7千万回と比較すると10倍近く増加したことになります。そのうち、北京における微信のオンラインお年玉の配布回数は2億5千万回を超え、全国トップとなっています。

親が遠く離れた自分の子供に、会社の経営者が従業員に、親しい友人に・・・等々、オンラインお年玉は渡す形態も様々です。この新年の新たな風習は、友人間のやり取りなどをさらに楽しいものにしていきます。



オンラインお年玉  
通称「红包（ホ・ハオ）」の受取画面

小笠原 宅麻